

No. 579 3月号

平成 14 年 3 月 14 日発行



おいしいイチゴが採れたヨ!

～田代幼稚園・川原保育園イチゴ狩りの1コマ～

ほく でんしろ う です

田代町役場企画管財課編集 肝属郡田代町麓 827 番地 1
ホームページアドレス <http://www.town.tashiro.kagoshima.jp>

とき **4月7日** 日
ところ **花瀬川石畳**

花瀬公園まつり



錦野 旦



ベティ



忍風戦隊
ハリケンジャーショー



田代町
特産品販売



ニジマス釣り
味自慢鍋



たしろ花瀬駅伝大会
●同時開催●

花瀬公園まつり実行委員会

肝属郡田代町麓827-1 田代町役場企画管財課内 事務局 09942-5-2511

第31回 田代町畜産振興大会



2月7日役場3階大会議室において、第31回畜産振興大会が開催されました。本町の基幹産業の一つでもある畜産農家(肉用牛・ブロイラー・養豚)と畜産関係者が一堂に会し、1年間の成績発表と今後の経営・管理等について学ぶこの大会、多くの方が出席されました。

貫見広幸町畜産振興会長、町長、農協長のあいさつの後、串良町串良やつたる会会長豊重哲郎先生による演題「価値ある人生、感動に生きる」の講演会がありました。

豊重先生は、串良町柳谷地区の公民館長でもあり、土着菌を利用して、家畜ふん尿のにおい解消、家庭の生ゴミの堆肥化・有効利用に取組んでいるとのこと。

自治公民館活動の一環として「土着菌センター」を設置、土着菌を増やして配布する体制を整備しました。「家畜農家が胸を張って営農できるように」「資源の有効利用で有機野菜の生産、循環型の生活スタイルで生ゴミ排

出ゼロを」と、環境に目を向けた地域づくりを実践しています。

また、最近の畜産情勢について肝属畜連の小島肉用牛課長が全国50の黒毛和種子牛取引市場のうち、取引頭数が全国4位の肝属中央家畜市場が47位の平均価格にとどまっている。

原因としては、高齢母牛の多さや、適正交配がなされていない。今後、購買者が求めるのは「この市場でしか買えない子牛」課題は早急に解決していく必要があると報告されました。

五地区対抗優勝旗争奪戦では、上部地区が優勝、花瀬地区が準優勝されました。

また、表彰式では多くの方が受賞されました。心からお祝いを申し上げ、今後の本町畜産発展のためにがんばってください。

狂牛病等の発生で、畜産農家には厳しい時代に入っています。農家と各関係機関が一丸となつて前進していきましょう。



イチゴ狩り

2月26日(火)田代幼稚園・川原保育園ではイチゴ狩りが行われました。新田集落にお住まいの山口直治さんのイチゴハウスで採り方の説明を聞いた後、園児はイチゴ狩りを楽しみました。



ハウスの中に入るとイチゴのあまじい香りが漂い、「はやく、はやく、イチゴを食べたいなあ」と言っている声が聞こえていました。

園児は、ハウスの中

でもぎとりにして、おなかいっぱい食べていました。「20個も食べて、おやつは食べられないよ。」「家にもつて帰るイチゴをいっぱい採りました。」とハウス内は、園児のにぎやかな声がいつまでも聞こえていました。

イチゴ狩りで、収穫の喜びを学んだこと

でしょう。



平成13年度鹿兒島たしろ会総会
2月9日(土)鹿兒島市のホテルタイセイアネックスにて、鹿兒島たしろ会総会が開催されました。

当日は、上野静雄会長他約70名の会員と、本町からも町長、議長、企画管財課職員が出席し、町内の状況報告や特産品販売等を行いました。

イチゴや味噌・漬物等多数の特産品も持っていきました。多くの特産品が売れ、大変好評でした。

会場は、久しぶり会う人々がふるさとの話でにぎわい、遅くまで会場は和やかな雰囲気でした。

ふるさとを離れ、それぞれご活躍をされております本町出身の方々の、心の拠りどころである「たしろ会」が、今後益々発展されますことを祈ります。

平成 14 年度 自衛官募集			
募集種目	資格	受付期間	試験期日
一般・技術・ 医・歯・薬科 幹部候補生	詳しくは、 鹿屋募集事務所へ	※ 4/8(月)～5/10(金)	※ 5/25(土) ※ 5/26(日) (飛行要員のみ)
医・歯科 幹部自衛官	医師免許又は 歯科医師免許保持者	※第1回 4/8(月)～5/10(金) ※第2回 10/10(木)～11/1(金)	※ 5/30(木) ※ 11/26(火)
海上自衛隊 技術幹部	詳しくは、 鹿屋募集事務所へ	※ 5/1(水)～5/31(金)	※ 7/5(金)
海上自衛隊 技術海曹	詳しくは、 鹿屋募集事務所へ	※ 5/1(水)～5/31(金)	※ 7/6(土)

※の日程については、予定です。

問合せ先：役場総務課又は自衛隊鹿児島地方連絡部 鹿屋募集事務所 ☎0994-42-4386

人事院は、平成14年度中に
次の採用試験を行う予定です。

A、大学卒業程度
国家公務員採用Ⅰ種試験・
国家公務員採用Ⅱ種試験・
国税専門官採用試験・法務
教官採用試験・労働基準監
督官採用試験・航空管制官
採用試験

B、高等学校卒業程度
国家公務員採用Ⅲ種試験・
海上保安学校学生採用試験
(特別)・刑務官採用試験・
海上保安学校学生採用試験
・入国警備官採用試験・
海上保安大学校学生採用試験
・皇居護衛官採用試験・
気象大学校学生採用試験・
航空保安大学校学生採用試験

受付期間(一番早い受付期間、
各試験により異なる)
A、4月2日(火曜日)から
B、4月11日(木曜日)から

試験日(一番早い試験日、各試
験により異なる)
A、6月9日(日曜日)
B、5月26日(日曜日)

平成14年度 国家公務員採用試験

申込用紙の請求

各試験の申込用紙と受験案
内は、問合せ先に請求してく
ださい。なお、郵便で請求す
る場合は、「必要額の切手を
貼った宛先明記の返信用封
筒」を同封してください。切
手は、試験名により120円
～160円必要です。(1部)

問合せ先

〒812-0001 3
福岡市博多区博多駅東

福岡市博多区博多駅東

人事院九州事務局 第二課試験係

☎092(431)7733

ホームページアドレス
<http://plaza7.nhn.or.jp/~npag/>

人事院九州事務局 第二課試験係

☎092(431)7733

ホームページアドレス
<http://plaza7.nhn.or.jp/~npag/>

人事院九州事務局 第二課試験係

☎092(431)7733

ホームページアドレス
<http://plaza7.nhn.or.jp/~npag/>

人事院九州事務局 第二課試験係

☎092(431)7733

ホームページアドレス
<http://plaza7.nhn.or.jp/~npag/>

人事院九州事務局 第二課試験係

☎092(431)7733

ホームページアドレス
<http://plaza7.nhn.or.jp/~npag/>

人事院九州事務局 第二課試験係

平成14年度

前期技能検定

国家試験

◎受験申請受付

平成14年4月4日(木)から
4月17日(水)まで(土日は除く)

◎試験実施日

平成14年6月12日(水)か
ら9月8日(日)までの期間
で職種ごとに定める日

1 実技試験

平成14年8月25日(日)、
9月1日(日)及び9月8日
(日)の職種ごとに定める日

◎合格発表日

平成14年10月8日(火)

◎実施職種

造園・機械加工・建設機械整
備・塗装等(33職種)の予定

◎等級

1級・2級・3級・単一等級

◎問合せ先

鹿児島県職業能力開発協会
〒892-0832

鹿児島市住吉町15-11

☎099(226)3240

県庁商工観光労働部

労働政策課

☎099(286)3019

県庁商工観光労働部

労働政策課

☎099(286)3019

県庁商工観光労働部

労働政策課

☎099(286)3019

郵便局、 不法投棄を 見逃しません

田代町と郵便局が
不法投棄の情報提供に関する
業務委託契約を締結(肝属地区一斉)

家庭ゴミを始めとしたゴ
ミの不法投棄が、依然とし
て後を絶たない中、「郵便配
達中等にゴミの不法投棄を
見つけたら地元自治体に通
報する」「情報提供業務委託
契約」の合同調印式が、2月
8日(金)鹿屋商工会議所に
おいて行われ、肝属地区2
市9町の自治体と管内14郵
便局との間で、廃棄物の不
法投棄等に関する情報提供
の業務委託契約が取り交わ
されました。



この契約により、肝属地
区では地域に密着し活躍
の郵便局外務職員の方々と
200名が、郵便局の配達
等の際に不法投棄に目を光
らせていただくことになり
ました。

や電話等により、町に通
報することになっていま
す。

業務の効果

この業務を締結したこと
により
●スピーディーな情報収集
●不法投棄現場の早期発見
●早期解決
●不法投棄の抑止効果の増大
といった効果が期待できま
す。

また、肝属地区で一斉に
締結したことにより、幅広
い情報網が張り巡らされ、
肝属地区全体の連携が強化
されるとともに、不法投棄
の抑止効果がより一層高ま
ることが期待できます。



半島隅くじら元気市

薩摩・大隅両半島の先端部地域8町(田代町・根占
町・大根占町・佐多町・内之浦町・笠沙町・坊津町・
大浦町)が共同で、半島の豊かな自然や特色ある文化、
特産品などを紹介し、「半島の元気」をPRします。

各町の特産品の展示即売やお楽しみ抽選会、クイズ
ラリーなど、ご家族で楽しめます。

本町からも、イチゴ・米・お茶・漬物・味噌・手作
りお菓子・焼肉のたれ・ドレッシング等の販売をしま
す。皆様のご来場も心よりお待ちしております。

また、鹿児島市にお住まいの方々へのお声がけもよ
ろしく願います。

- 日時
3月16日(土)～17日(日) 午前10時～午後5時
(17日は午後3時まで)
- 場所
いづろドーム(鹿児島市)
- 問合せ先
・半島隅くじら元気市実行委員会事務局(佐多町企画課内)
☎09942-6-0511 又は役場企画管財課まで
・県庁地域政策課 ☎099-286-2425

「ライト点灯モデル事業所」発足式

現在、交通事故をなくす県民運動の重点とし
て「早めの合図、早めの点灯の励行」が推進さ
れています。

そこで、この運動の推進に伴い、2月25日
(月)に田代町役場を「ライト点灯モデル事業所」
として発足式を行いました。

発足式では、職員が「早めの点灯実施宣言文」
を朗読し、その後パトカーと、ライト点灯をし
た公用車で町内の広報活動を行いました。

夕方の薄暗い時間帯に、車のライトを点灯し
ないで運転するのは大変危険です。ライトを点
灯することにより、自分の存在を知らせ、交通
事故防止に大きな効果をもたらします。

町民のみなさんも夕暮れ時は早めにライトを
点灯しよう心がけましょう。



平成14年4月分保険料から、納付先が変わります。

春の地域安全運動

労働保険年度更新手続き

平成14年度から自動車税のグリーン化が始まります

退職金づくりは「中退共」で

■納付先が市町村から国（社会保険庁）に変わります。国民年金第1号被保険者の方は、現在国民年金保険料を市町村へ納付していただいていたのが、平成14年4月分保険料からは国（社会保険庁）が発行する納付書により、金融機関等を通じて国へ納付していただくことになりました。

■納付組織（自治会・婦人会・納税組合など）や市町村窓口では納付できなくなります。平成14年4月分保険料からは、自治会・婦人会・納税組合などの納付組織を通じての納付、また市町村役場の窓口での納付がでなくなります。

■全国の金融機関で納付できるようになります。平成14年4月分保険料からは、全国の銀行、郵便局、信用金庫、信用組合、農協、労働金庫などで納めることができるようになります。

■問合せ先
役場民生課年金係まで

県警では、3月21日（祝）4月10日（水）までの間、春の地域安全運動を実施します。運動の重点は次のとおりです。

■戸締りの徹底
・外出するときは、ちよつとの間でも鍵をかけ、隣の声をかけをしましよ
・ドアには、ピッキングに強い鍵をつけましよう。



■自転車・オートバイなどの乗物盗・車上狙いの防止
・自転車には、「防犯登録」「住所・氏名の記入」「二重ロック」を忘れずにしましよう。
・車を離れるときは、現金や貴重品などを車内に置かないようにしましよう。
■少年の非行防止
・親の態度で子供に手本を示しましよう。
・家庭で規則正しい生活習慣を身につけましよう。

労働保険（労災保険・雇用保険）の年度更新手続きの期間は、4月1日から5月20日までとなっています。この期間中に、平成13年度の確定保険料、平成14年度の概算保険料の申告と納付をお済ませください。

県広報課ホームページ開設「e-かごしま」開設

「e-かごしま」では、県からのお知らせや県の広報誌、県政テレビ、ラジオ番組の紹介、「知事へのたより」や県政モニターからの意見・質問の紹介など掲載しています。

■ホームページアドレス
<http://chukakunet.pref.kagoshima.jp/home/kohoka/e-kago/index.html>

環境負荷の大小による自動車税の増額・減額（グリーン化税制とは）
地球温暖化・大気汚染の防止の観点から、地球にやさしい自動車の開発・普及を図るため、排出ガス性能及び燃費性能の優れた自動車は税額を減額し、新車新規登録から一定年数を経過した自動車は税額を増額する制度です。

中退共制度（中小企業退職金共済制度）に加入して従業員の退職金を準備しましよう！
■中退共制度の特色
・国の制度なので安全・確実・有利です。
・掛金の一部を国が助成します。掛金は税制上、全額非課税になります。
・加入前の過去勤務期間や転職した場合に通算ができます。
・福利厚生施設設置等のための融資制度があります。

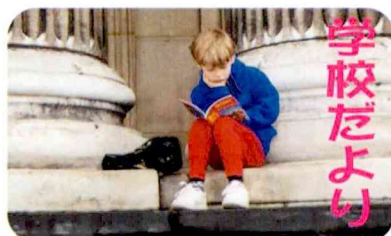


■平成14年度以降増額される自動車（年税額の概ね10%を増額）
・平成13年3月31日までに新車新規登録を受けたディーゼル車
・平成14年3月31日までに新車新規登録を受けたガソリン車
■問合せ先
鹿児島県自動車税管理事務所
鹿児島市谷山港2丁目5番10号
☎099（261）5611

■加入の手続き
・所定の申込み用紙に記入押印の上、お近くの金融機関又は委託事業主団体へ申込んでください。
■問合せ先
退職金相談コーナー
☎81210054
福岡市東区馬出1-13-10
☎092（631）2551
ホームページアドレス
<http://www.mnjp.or.jp/chutai-kyo>

学校だよ

田代小学校



一年生の前まわしとび



全学年合同での長なわとび。

なわとび大会 2/16

これまでの練習の成果を発揮しようと精一杯跳びました。



高学年になると、いろんな跳び方ができますね。



それ！跳べたかな。

PTAバザー

なわとび大会の後に、多目的教室で行われました。



たくさんの品を提供していただきました。



毎年、様々な品物が並びます。

大原小・中学校 家庭教育学級閉講式

2月27日（水）、大原小・中学校家庭教育学級閉講式が開催されました。

まず、大中尾小学校前田隆幸先生による講演を行いました。「親子読書のすすめ」の指導について分かりやすくお話いただきました。

その後の閉講式では、大原小学校家庭教育学級長の山元利美さん、大原中学校家庭教育学級長の町嘉輝さんへ修了証書が渡されました。今年度の成果をもとにして、来年度はさらに充実した家庭教育学級が推進されることとします。



前田隆幸先生の講演

子育て学習講演会

2月23日、PTA、家庭教育学級関係者など約160名が参加して、平成13年度子育て学習講演会が開催されました。講師に3年B組金八先生のモデルとなった家本芳郎先生をお招きして、「今、なぜ、家庭教育か。父親、母親の役割」と題してご講演いただきました。

家本先生は、家庭は人間生活の基礎、基本であり父親は、子どもの成長のふしみに顔を出し、母親のしつづけに協力することが親としていかに大事であるかということに豊富な実践例に基づいてお話されました。ユーモアあふれる中にも家庭教育の大切さが盛り込まれた素晴らしい講演でした。



ユーモアたっぷりに話された家本芳郎先生

平成14年度 春の心豊かな青少年を 育てる運動

☆運動の趣旨

春は卒業、入学、進学、就職など青少年には人生の節目となる貴重な経験を積む大切な時期である。青少年の生活環境が変わり、問題行動が起こりやすいこの時期に、家庭、学校、地域職場及び各種団体が緊密な連携を図りながら、「心豊かな青少年を育てる運動」を積極的に展開することにより、次代の鹿児島を担うたくましい青少年を育成する。

☆テーマ

「育てよう 思いやりのある子に 強い子に」

☆期間

平成14年3月11日から4月10日まで



町教育研究会開催



教育研究会分科会

2月14日、町内小・中学校の先生方が全職員参加して町教育研究会が開催されました。まず、各教科等の部会で1年間の活動の反省と次年度の課題について話し合われました。

その後の全体会では、「完全学校週5日制」と題するビデオを視聴し、今の学校教育に求められていることを考えました。最後に、肝属教育事務所所長の川原指導課長より「学校週5日制」と題して、指導講話がありました。今年度の成果をもとにして来年度はさらに充実した田代町の教育が推進されることでしょう。

感謝状を授賞

鉦ナル子氏は、昭和62年4月より15年の長きにわたり田代町婦人会長として職務を全うされました。その功績に当たり県婦人会長より感謝状を授賞いたしました。鉦氏の今後ますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。



感謝状を授賞した鉦ナル子氏

一大原小学校校内持久走大会

2月8日(金) 校内持久走大会を行いました。警察署のご協力のもと、パトカーの先導で、県下一周駅伝大会にも負けにくいに手作りの応援で盛り上げました。走り終わった後、PTAの方々に作っていただいたぜんざいで体を温めました。



ゴールまであと少し ファイト



手作りの応援ばたで!



いよいよスタート!

読書感想画コンクール開催

本町における読書運動の活性化をめざして、読書感想画コンクールが行なわれました。町内より273点の応募があり、審査の結果、次の皆さんが入賞されました。

賞	氏名	所属
特選	野上 哲平	田代小4年
特選	白山 由里	大原中1年
入選	水 流 花菜子	田代小1年
入選	宮 前 真菜美	田代小2年
入選	川 前 佑介	大原小3年
入選	白 山 智 洋	大原小4年
入選	山 崎 秀 人	田代小5年
入選	野 本 祐 也	大原小6年
入選	南 園 由 実	田代中1年
入選	川 路 春 香	田代中2年
入選	落 司 孝 輔	田代中2年
入選	町 文 枝	大原中3年



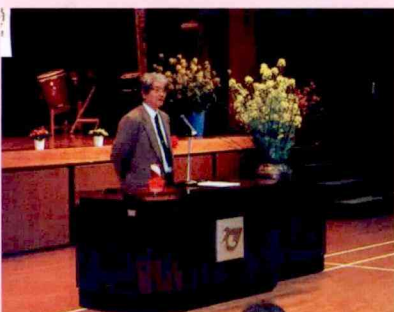
表彰された白山由里さん

田代町婦人大会

2月24日(日)、1年間の婦人会活動のまとめとなる婦人大会が開催されました。オープニングとして田代中2年生による合唱、続いて平成13年度の会務報告、会計報告、体験発表(串町芳子さん・袖山むつ子さん)の後、「婦人として家庭・地域の役割とは」と題して、家本芳郎先生による講演がありました。午後からは、各地区より出し物を披露するレクリエーション大会を行いました。踊りや歌、ダンス、手話などそれぞれに工夫された出し物がいっぱい、会場は笑いの渦に包まれました。地域を支える婦人パワー健在をアピールする大会となりました。



体験発表の様子(串町芳子さん)



ユーモアあふれる家本先生の講演



体験発表の様子(袖山むつ子さん)



アトラクション

春の祭典、 大原中学校

2月9日、加治木町文化会館加音ホールで行われた「春の祭典」に参加しました。大原中学校が参加したのは去年に引き続き3度目。中学3年生も高校受験勉強をしながら一生懸命に練習に取り組ましました。

大原中学校の金賞は2年連続の栄誉です。心に残るすばらしい合唱でした。



大原中学校による合唱

田代中学校 アベック金賞受賞

平成13年度県中学校音楽コンクール「春の祭典」が加治木町文化会館加音ホールで開催され、合唱部門において、田代中2年生が出場し、見事に金賞を受賞しました。



クラスみんなの心をひとつにして

田代の若者大活躍!!

☆県下一周駅伝に出場



山崎 雅人 選手(左)と 鶴園 満 選手(右)

早春の鹿児島を駆け抜ける第49回県下一周駅伝大会が2月16日(土)20日の5日間開催されました。田代町からも鶴園満君(鶴園)と山崎雅人君(柴立)の高校生2名が肝属チームの中心メンバーとして出走しました。

この2人の力走は肝属チーム総合第4位の原動力となりました。町民の皆さんからもあたたかいご声援をいただき、誠にありがとうございました。今後、鶴園君、山崎君のより一層のご活躍を期待します。大きな感動を、本当にありがとうございます!!

市町村 合併 シンポ ジウム 開催

日時：平成 14 年 3 月 30 日(土曜日)
午後 1 時 30 分～ 4 時 30 分
場所：根占町文化ホール
内容：基調講演・研究成果報告
パネルディスカッション
他

田代町社会福祉協議会「篤志寄付金」
上ノ原 義弘
田代小学校 P T A
様 様

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

K ネットサービス開始

～ご利用ください。～

4 月から町税・公共料金等の口座引き落としができるようになります。

利用できるものは、次のとおりです。

町県民税・軽自動車税・固定資産税

国保税・介護保険料・住宅使用料

口座振替依頼書を役場及び町内の金融機関窓口に準備してあります。

必要事項を記入の上、納入期限約 1 ヶ月前までに役場各担当者まで提出してください。

なお、その際預貯金の届出印が必要になります。

◎ 問合せ先 役場各担当課

* 人口のうごき * 平成 14 年 3 月 1 日現在

住民基本台帳		増		減		前月対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,659	0	0	0	2	△ 2
女	1,821	2	2	1	3	0
計	3,480	2	2	1	5	△ 2
世帯数	1,440					△ 3

休日在宅当番医

月 日	当 番 医	T E L
3 月 17 日	津 崎 医 院	4 - 2153
3 月 21 日	肝属郡医師会立病院	2 - 3111
3 月 24 日	肝属郡医師会立病院	2 - 3111
3 月 31 日	大 根 占 医 院	2 - 2658
4 月 7 日	阿 久 根 医 院	4 - 2100
4 月 14 日	黒木内科小児科医院	6 - 0750

国民健康保険・資格証明書・短期被保険者証

国民健康保険税については、平成 13 年度分に滞納があると、被保険者証（1 年更新）が短期被保険者証（1～3 ヶ月）又は、資格証明書（病院等へ 10 割負担）に変わります。



くれぐれも納め忘れないようにご注意ください。

国民健康保険の「世帯主」の取扱いについて

国民健康保険資格のない世帯主が、「擬制世帯主」として、納税義務が発生している場合に、被保険者の届出と、世帯主の同意により、国民健康保険の世帯主を変更することができます。

詳しくは、民生課国民健康保険係まで、お尋ねください。

次のうんめもん市

日時：3 月 17 日(日曜日)
場所：花瀬でんしろう館

3 月特別催し物
「椎茸こま打ち」

編集後記

④

あかりをつけましょぼんぼりに
お花をあげましょ桃の花
五人ばやしの笛太鼓
今日はたのしいひな祭り
3 月 3 日は、ひな祭りでした。
桃の節句などともいわれ、昔から女の子のお祭りとして、庶民にも親しまれてきたひな祭り。家に女の子がいないくても、きつとどこかでひな祭りに参加したことはあるかと思えます。
ぼんぼりに火を灯し、その前で子どもの成長を願う気持ちは今も昔も同じ。昔ながらの伝統が残ります。子どもの成長を

祈るといふ、ひな祭りの意味は今も昔も変わりません。
このひな祭りは、一体いつ頃から行われたのでしょうか？
ひなまつりの起源には、平安期の雛（ひいな）遊びの遺風説や、室町末期に始まったとされる説などがありますが、罪けがれを祓うために人形（ひとがた）に汚れを託し、水辺に流した風習がもとになったとされているのが、一般に一番よく知られているようです。
また、昔はひな祭りの日も特に決っていなかったようですが、いつしか中国からの影響で、3 月最初の巳の日に行われるようになり、江戸幕府の頃に、3 月 3 日の節句として式日と制定されたようです。
我が家にも、女の子がいますが、次男が 3 月 3 日誕生日なので（女の子であればよかったなあと思うくらいですが）誕生日と一緒に、女の子の成長を祈りました。
女の子がいる家庭では、どうだったでしょうか。子供の成長にびっくりされたのでは？
ちなみに、耳の日でもあります。日本耳鼻咽喉科学会が「み（3）み（3）」の語呂合わせと耳や聴力への関心を高め、聴覚障害の予防・治療を徹底するための記念日として、昭和 31 年に制定しています。